

村井県政4期16年間にたたす

—4病院2拠点化問題、水道「みやぎ型」、汚染処理水海洋放出、女川原発再稼働、気候危機—

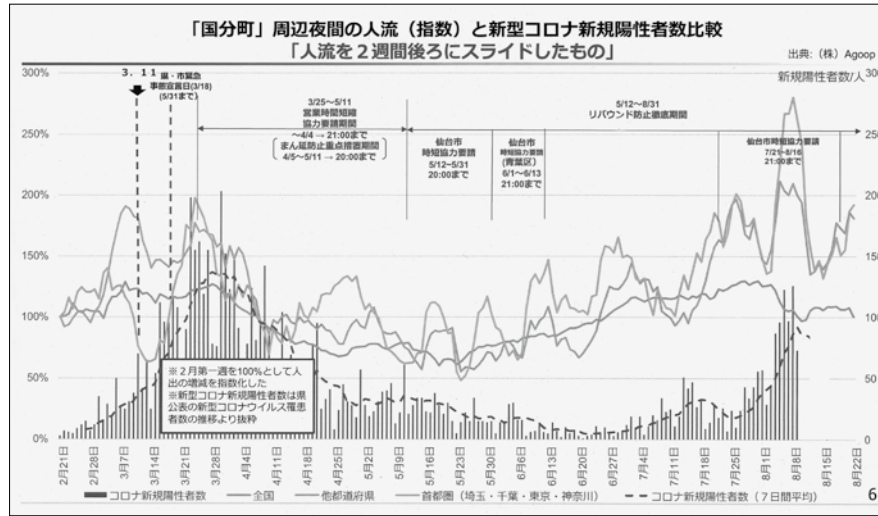
大内真理県議の代表質問 9/9



五輪「有観客」問題 知事の誤ったメッセージが感染拡大の二因に

大内県議

新型コロナウイルスの感染拡大で「まん延防止等重点措置」が出されるなか、多くの県民や医師会、大学病院などの反対を無視し、五輪有観客開催を強行したと批判。開催中に首都圏から国分町への人流が2週間スライドすると感染拡大の波と重なるグラフを県自身が発表している。知事の間違ったメッセージが感染拡大の一因になったのではないかと村井知事の影響は限定的だった。



水道「みやぎ型」自体と汚泥ストックヤード計画の撤回を

大内県議

県の水道3事業の運営権を外国資本・ヴェオリア含むSPC II 特定目的会社に売却する「みやぎ型管理運営方式」で、SPCの提案の中に、多賀城市大代の仙塩浄化センター敷地内に、排泄物の塊である汚泥を7億6千万円の建屋を建築（国・県・市町の全額持ち出し）し、保管する「汚泥ストックヤード」建設計画が明らかになった。悪臭公害のおそれがあり、費用対効果も無い事業提案を、そのまま受け止めて実施させようとするなど言語道断。SPCからの提案自体を拒否すべき。

辺環境への対策内容など確認の上、関係市町や地域住民の理解が得られるよう適切に対応していく。

女川原発再稼働の同意表明の撤回を

大内県議

原発事故において被ばく前提の屋内避難は決して強制できない。実際の避難には、避難指示命令までの数日、退域時検査場所稼働までの数日、受付ステーションまでの大渋滞に数日と、単純計算だけでも100日以上かかる。避難計画に実効性がないのは明らかではないか？

村井知事 繰り返しの訓練で精度を高める。

大内県議

根本的に無理がある計画を訓練でカバーすることなど不可能。速やかに再稼働の同意表明の撤回を求める。

気候危機による水害土砂災害抑止のため 森林乱開発の規制条例制定を

大内県議

世界・日本で異常な豪雨、台風、猛暑、森林火災などが大問題となっている。温室効果ガスをおさえ、気候危機を打開するためには徹底した省エネと適正な再エネ施策が肝心である。

村井知事

現状の森林法に基づいて適正に対処する。

大内県議

現状の森林法は抜け穴だらけだ。他法令遵守違反を当該市町や住民から告発があれば県として受け止めて、FIT認定取り消しを国に働きかける相談窓口の開設を求める。

突然発表、当事者無視、コロナ真つ口中の暴挙 「3病院統合」→「4病院2拠点化」

自民会派の代表質問に答える形で知事が突然発表した「4病院2拠点化」は、県立がんセンターと仙台赤十字病院（太白区）の「統合」。県立精神医療センターと東北労災病院（青葉区）の「合築」というもので、仙台医療圏の南部と北部つまり仙台市以外への移転をまくろんでいた事を示します。患者さんや病院職員、病院がなくなるおそれがある仙台市には一切の事前相談もなく、水面下で「たたき台」が作られていたことを示します。大内県議は「議会にも県民にもこうした事をひた隠しに隠して進めるというやり方自体が非常に問題」と厳しく指摘しました。

日本共産党 県議団ニュース 速報版 2021年9月 第49号
発行：日本共産党宮城県議会議員団 (控) TEL 022(211)3523 FAX 022(268)6093 E-mail: info@jcpmk.jp